

令和八年度 入学式 学長式辞

令和八年四月三日

桜花が舞う春、本日ここに、国際政策学部94名、人間福祉学部84名、看護学部100名、三年次編入生4名、大学院人間福祉学研究科4名、看護学研究科11名、さらに助産学専攻科7名、総勢304名の新たな学生を迎えることができましたことは、誠に大きな喜びであります。

新入生、編入生、大学院生、専攻科生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。幾多の試練を乗り越え、本学の門をくぐられた皆さんの努力に、心より敬意を表します。

また、本日まで温かく見守り、支えてこられたご家族、ご関係の皆様、心よりお祝い申し上げます。

さらに、公務ご多忙の中、ご臨席を賜りました山梨県副知事 石寺淳一様をはじめ、ご来賓の皆様、厚く御礼申し上げます。

私たちはいま、科学技術の急速な進歩とグローバル化の奔流の中に生きています。情報技術や人工知能の発展は、社会の姿そのものを変えつつあり、経済の価値は有形の「モノ」から、無形の「情報」や「サービス」へと移行しています。生成AIが日常生活に浸透する時代を迎え、社会はこれまでにない速度で変化しています。

このような時代において、大学に求められる役割は、単に知識や技能を教えることではありません。新たな理論や技術を恐れるのではなく、それらを深く理解し、新しい知を創造し、その知を社会の発展と人類の幸福のために生かす人材を育てることにあります。

さて、学問は長い年月を経て語り継がれてきた言葉を私たちへ伝えていています。私の専門は微生物学ですので、ここで近代微生物学とワクチン研究の基礎を築いた科学者、ルイ・パスツール（Louis Pasteur）の言葉を紹介いたします。

「科学に国境はない。しかし、科学者には祖国がある。」

学問は人類共通の財産であり、世界に開かれたものです。同時に、その知を社会にどう生かすかは、それぞれの地域や国に生きる私たち一人ひとりの責任でもあります。地域に根ざした知は、やがて世界に通じる叡智へと育っていきます。大学での学びとは、この「知」の普遍性と社会性の双方を、自らの中に確立していく営みです。

真の学びは、教室や研究室の枠を超えます。固定観念にとらわれず、多様な経験に挑戦してください。友人との議論、地域での活動、異文化との交流は、皆さんの知的世界を大きく広げます。他者との対話は、自らの無知や思い込みに気づく機会でもあります。異なる背景を持つ人々と誠実に向き合い、より深い理解を目指す姿勢こそ、大学で培うべき重要な力です。

特に大学院においては、自らの研究成果を広く公表し、学術共同体からの厳しい批判に真摯に向き合い、修正と深化を重ねることで、人類の知的財産に寄与する新たな「知」を創造していくことが求められます。

本学は、「知」を基盤として地域社会の発展に貢献する大学として歩んできました。文部科学省のCOC事業やCOC+R事業をはじめとする地域活性化人材育成の取組、社会人のリカレント教育の推進、さらに大学等連携推進法人「大学アライアンスやまなし」への参画などを通じて、日本の大学教育改革の最前線を担っています。

これらの取組のもと、「アントレプレナー養成」や「観光高度化人材育成」などの実践的教育プログラムを展開し、全学共通科目として提供しています。社会の第一線で活躍する専門家から学ぶ授業や、地域の企業と連携したPBL（課題解決型学習）も数多く設けています。ぜひ積極的に受講し、視野を広げてください。

現在、本学では、文部科学省の採択を受けた「地域活性化人材育成事業（SPARC）」を推進しています。国際政策学部には「創発デザインコース」を、人間福祉学部と看護学部には学部横断型の「ヒューマンサービスイノベーションコース」を設けています。ま

た、令和十年度には、国際政策学部既存の枠組みを超える工学系の新学科「メイカーズ学科（仮称）」を開設する予定です。デジタルトランスフォーメーション（DX）の活用と他分野との連携による創造的な学びを通じて、未来を切り拓く価値創造人材の育成に力を注いでいきます。

本学の視野は地域にとどまらず、世界にも開かれています。世界十二の国・地域にある二十六の大学と交流協定を結び、国際交流を進めています。留学や留学生との交流は、多様な文化や価値観に触れ、国際的な感覚を養う貴重な機会となるでしょう。

結びに申し上げます。本学は、豊かな自然と悠久の歴史に育まれた甲府盆地に位置し、この地域全体を学びのキャンパスとしています。地域社会は世界の縮図であり、未来の課題がいち早く現れる場でもあります。ここでの課題解決への挑戦は、やがて世界が直面する問題の解決へとつながっていくはずです。

この地で多くの人々と出会い、社会と真摯に向き合いながら、自らの「知」を磨き、その可能性を大きく育ててください。

山梨県立大学は、皆さん一人ひとりがここでの学びを礎として、それぞれの未来へと力強く歩み出されることを、教職員一同、心を込めて支援してまいります。

本日は、誠におめでとうございます。

令和八年四月三日

山梨県立大学

理事長・学長 早川正幸